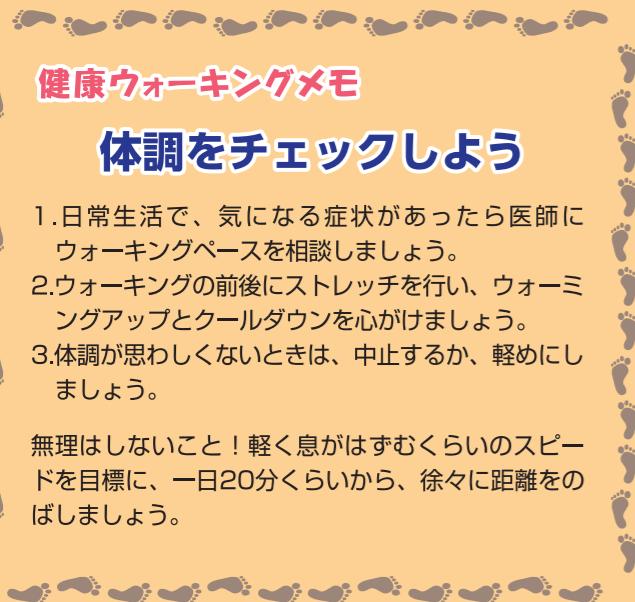
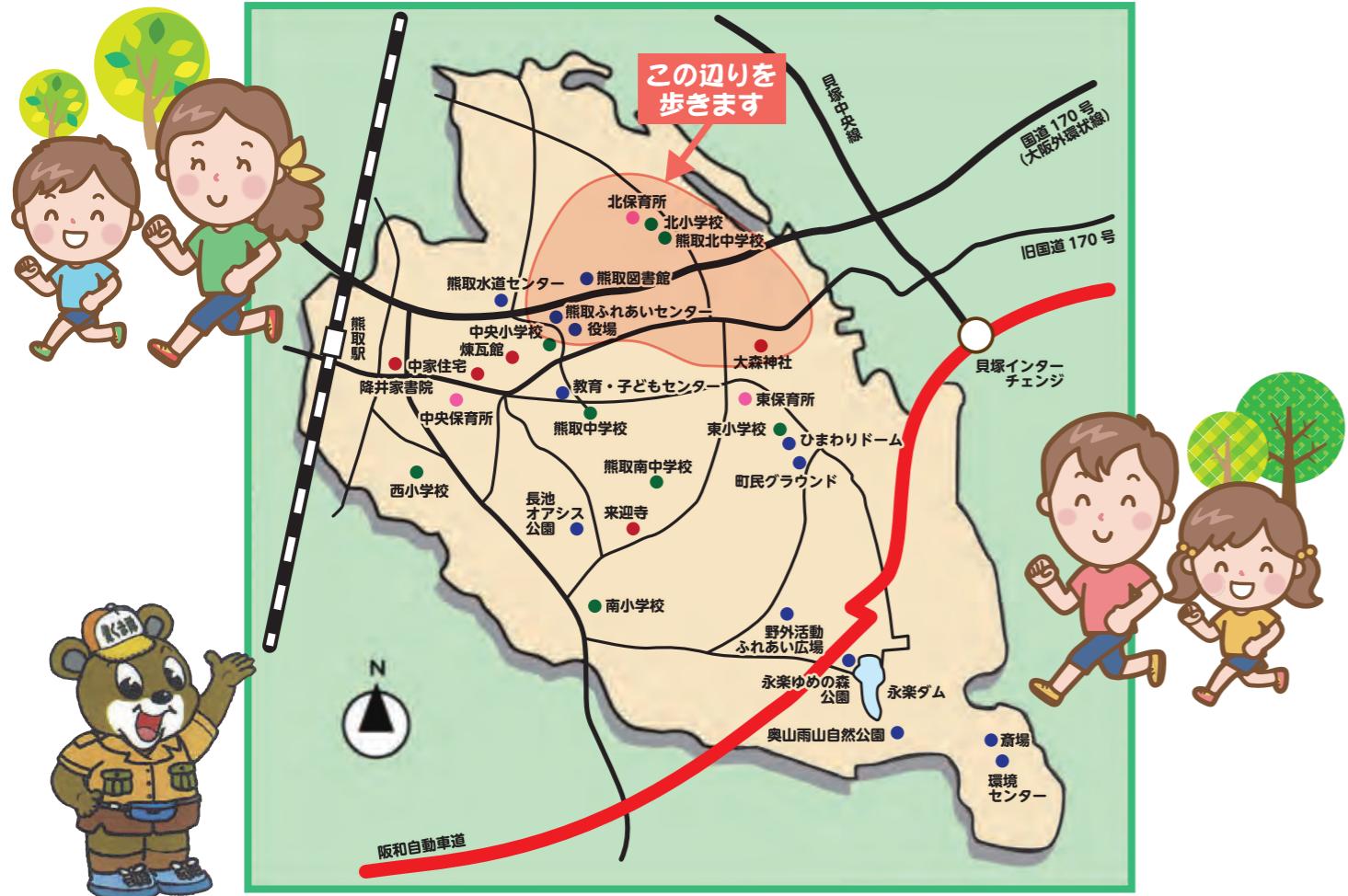
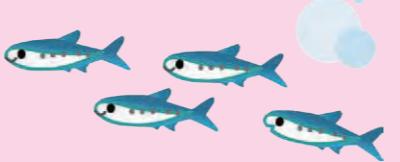


熊取あれこれ

忘れられた「水の文化」(水が無ければ総ての生物が生きられません)

私達の住む熊取町と周辺市域は、水に恵まれない地域でした。中世の頃から水田開発が進んだことと、生活用水に困ったこともあり、用水確保のため渓谷の湧水を導き、苦労して丘陵地帯に沢山の溜め池が造されました。そして各溜め池を結ぶ用水路や各村々に生活用水を送る用水路が造られ、生活の向上に寄与してきました。また、雨山における雨乞い行事や奥山に所在する「永楽池」の名称も祈りと願いの名残りです。



健康ウォーキングメモ

体調をチェックしよう

- 日常生活で、気になる症状があったら医師にウォーキングペースを相談しましょう。
- ウォーキングの前後にストレッチを行い、ウォーミングアップとクールダウンを心掛けましょう。
- 体調が思わしくないときは、中止するか、軽めにしましょう。

無理はしないこと！軽く息がはずむくらいのスピードを目標に、一日20分くらいから、徐々に距離をのばしましょう。

健くま隊って？

正式名称は「健康くまとり探検隊」です。健康くまとり21の推進として「ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくり」を目指し、健康を幅広い視野で捉えて自分と地域みんなの健康づくりに役立つ活動の企画や実践をしている健康づくりグループです。主な活動としては、町内ウォーキング、マップ作り、地域のウォーカリー協力、体力チェックの実施です。メンバーはこの活動に賛同する町民によって組織されています。

事務局は、熊取町健康・いきいき高齢課
(TEL.452-6285)です。
興味のある方はぜひお問い合わせください。



このマップは「健くま隊」のメンバーが、「くまとりをもっと知ってほしい」という想いから、まちにある昔からのなつかしい路を、テーマ別にわかりやすく解説し、シリーズにしていくものです。ぜひ日頃のウォーキングロードの途中に加えてください。さてシリーズ3「幻の信仰と武将達の往来の道を訪ねて」は、岸和田城下はずれ父鬼街道から分岐し、旧木島谷、清児地区を経て熊取、小谷、高田、旧大木村に至る道を大熊街道といい、大熊の名称は大木村の大、旧熊取谷の熊を合わせ、大熊街道と称されたそうです。



みつまつどうひょうじぞう
三松道標地蔵



しらじだに
白地谷

この谷は、昔白丹谷とも書かれ、土質は白砂でした。中世、この地に、幻の大寺院「正法寺（め寺）」が所在したが、豊臣秀吉の紀州根来寺攻め時の戦火で焼失したそうです。



えいじゅいけしゅうへん
永寿池周辺 (貝塚市)



こうぞうじ つじのい
興藏寺・辻の井

永寿池は、行基によってつくられた泉州地域、水文化の先駆けです。この地域は、貝塚市、熊取町地域の境界線周辺にあり、丘陵の谷間に囲まれた田園地帯で春夏秋冬爽やかな景勝豊かな地域です。

興藏寺は、高藏寺城を背景に、中世の戦乱で武将とともに興亡を繰り返した、禪宗（臨済宗）の寺院です。辻の井は、「湧水井戸」で、中世より、この地区の豊かな清水の供給源でした。